

# ごあいさつ

我が国の農業を取り巻く状況は、担い手の高齢化や後継者不足による農業従事者の更なる減少に加えて、近年では、肥料や燃料など生産資材価格の高騰や地球規模での気候変動による影響、獣害の深刻化など厳しさを増しています。こうした中、国は、令和6年度に「食料・農業・農村基本法」を25年ぶりに大幅に改正し、食料安全保障を基本理念の柱とするとともに、農業生産の方向性として、これまでの農地集積や集約化、農業経営の基盤強化とともに、新たにスマート農業の促進などによる生産性の向上や農産物の付加価値の向上、環境への負荷の低減などを打ち出しました。

一方、本市では、平成29年度から12年間を計画期間として策定した「大津市農業振興ビジョン」に基づき、「農ある暮らしがつなぐ湖都のきずな～地域で支える多様な農業、地域でつくる豊かな食～」のコンセプトのもと市内の南北両端にある優良農地をはじめ棚田や都市農地が持つ多面的機能も大津の特色として地域全体で農業を支える基盤づくりを進めています。

特に、生産地と消費地が近接する都市近郊型農業の特性を活かした地産地消などに力点を置いてきましたが、このたび改訂した第3期ビジョンでは、担い手の確保・育成をこれまで以上に重点的な取組に位置づけ、市内の農業従事者が安心して営農を継続できる支援体制の充実を図るとともに、新たな担い手の確保に向けて、「食料・農業・農村基本法」の改正も踏まえながら、多様な主体が農業に参画する機会を設けることで農村関係人口の増加を目指すこととしています。

農業は、食料生産の基幹産業であるだけでなく、地域における環境の保全や景観形成、文化の継承など幅広い機能を有しています。本市としましても生産者、消費者すべての市民の皆様と大津の農業の価値を共有することで引き続き、農地を守り、次世代へと継承する持続可能な大津の農業の実現に努めてまいります。

また、市民の皆様が農業を支える役割は大きく、安心、安全な大津市産農産物を積極的に購入したり、市内で農業を体験したりするなど積極的に関わってくださることを心から願っております。

結びに、本ビジョンの改訂にあたりまして、貴重なご意見やご助言を頂戴しました農政審議会の皆様をはじめ関係の皆様にお礼を申し上げますとともに、取組の推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月



大津市長 佐藤 健司

# 目次

<b>第1章 大津市農業振興ビジョンとは</b>	<b>1</b>
1.ビジョン策定の経緯	1
2.ビジョンの位置づけ	2
3.ビジョンの計画期間	2
<b>第2章 大津はこんなところ(大津市の概況)</b>	<b>3</b>
1.自然・地理	3
2.沿革・歴史	4
3.人口	5
4.産業	6
<b>第3章 大津の農業のいま(大津市農業の現状と課題)</b>	<b>7</b>
1.大津市の地形・気候	7
2.第2期ビジョンの進捗と大津市農業の現状	8
3.大津市農業の課題	9
4.農業を取り巻く情勢の変化	11
<b>第4章 大津の農業、2029年の将来像(コンセプト)</b>	<b>13</b>
<b>第5章 2029年に向けた「5つの柱」(ビジョン実現の基本方針)</b>	<b>15</b>
<b>第6章 大津の農業、こんなことします(具体的取り組み)</b>	<b>17</b>
1.「人をつくり、仲間をつくる」－育てよう！次代を拓く担い手の輪	17
2.「土をつくり、畑をたがやす」－守ろう！実り豊かな農村空間	19
3.「種をまき、育てる」－探そう！さらなる農の可能性	21
4.「収穫し、お届けする」－広げよう！農の恵みをどこまでも	23
5.「恵みを味わい、農に親しむ」－楽しもう！身近な暮らしにあふれる農	25
<b>第7章 みんなで支える大津の農業(ビジョンの推進体制)</b>	<b>27</b>
<b>第8章 参考資料</b>	<b>28</b>
1.懇話会委員一覧	28
2.ビジョン改訂までの検討過程	28
3.用語解説	29
4.大津市農業の基礎データ	33

※統計資料は入手できる範囲で最新のものを掲載しております。